

オープンキャンパス・一日体験入学

オープンキャンパスでは、ほ場、寮などの学校見学、一日体験入学では専攻教室での実習体験ができます。進路相談会も併せて実施しており、入試や奨学金等について詳しく知ることができます。また、平日見学会を毎週月・水・金曜日、日曜見学会を毎月第2・第4日曜日に希望に応じ開催します。ホームページをご確認のうえ、お気軽にお申しください。



千葉県立農業大学校



農学科・研究科・農業研修科(東金市)

交通(本校)

- ①JR東金線求名駅下車、徒歩約30分
- ②JR東金線東金駅下車、「東金駅入口」から、京成バス千葉イースト「成東駅」行きに乗り、「家の子」で下車、徒歩約10分
- ③JR総武本線成東駅下車、京成バス千葉イースト「千葉駅」行きに乗り、「家の子」で下車、徒歩約10分
- ④JR千葉駅下車、京成バス千葉イースト特急フラワーライナー「成東」行きに乗り、「家の子」で下車、徒歩約10分

交通(農業研修科油井農場)

JR千葉駅発、平日のみ運行の高速バス(レイクサイドライナー)にて「高等技術専門学校」下車、徒歩約15分
※休日は、京成バス千葉イーストで「丘山小学校」下車徒歩約30分

千葉県立農業大学校

- ◆農学科 ◆研究科
- ◆農業研修科



◆機械化研修科



機械化研修科(千葉市緑区)

交通(機械化研修科)

JR外房線鎌取駅下車、南口からバス(小湊バス、京成バス千葉イースト)「ちはら台駅」「ちはら台東」行きに乗り、「農業センター入口」で下車、徒歩約20分

COLLEGE GUIDE 2025

令和8年度
入学生募集

めざせ! プロフェッショナル



千葉県立農業大学校

本校

〒283-0001 千葉県東金市家之子1059

TEL 0475-52-5121(庶務教務課)
0475-52-5122(農学科)
0475-52-8565(研究科)
0475-52-5140(農業研修科)

FAX 0475-54-0630(各科共通)

ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/noudai/>

E-mail noudai01@mz.pref.chiba.lg.jp(受信専用)

X(旧Twitter) https://twitter.com/chiba_nodai

facebook <https://www.facebook.com/2026296467629790/>
アカウント名 千葉県立農業大学校



ホームページ



X(旧Twitter)



facebook

学校見学を随時受け付けています。
事前にお申し込みください。



千葉県立農業大学校

CHIBA PREFECTURAL AGRICULTURAL COLLEGE



校訓

「志農創造」

農業を志した以上は、常に高い理想のもとに国際化、技術革新・情報化など、時代の要求を的確にとらえ、旺盛な向学心を持って新しい農業を創造し、その使命に応える農業人とならなければならない。

教育理念

本校は、千葉県農業の発展に寄与する優れた担い手及び指導者の育成を教育目標に掲げ、次の4つを教育理念としています。

- 広い視野を持つ豊かな人間性の形成
- 高度な専門的知識・技術・経営管理能力の習得
- 地域社会における指導者としての資質の養成
- 土に根ざした実践力のかん養

沿革

本校の前身である千葉県農業大学校は、農業短期大学校と農業経営短期大学校を統合し、昭和54年に本県唯一の農業者研修教育施設として、東金市に開校しました。その後、平成24年に専修学校「千葉県立農業大学校」となりました。これまでに3,341名の卒業生を社会に送り出しています。

大学校の組織

千葉県立農業大学校

庶務教務課

大学校の庶務全般をはじめ、施設の維持管理や授業料、奨学金、諸証明等に関する事務、入学試験、就農・就職支援などを行います。

農学科 P.8

2年間で農業に必要な基礎知識と基本技術を学びます。1年生の後期から専攻教室に配属し、それぞれの技術を習得します。1年次は全寮制で自主性や協調性を養います。
(入学生募集) 高等学校を卒業した方、卒業予定の方が主な対象です。

研究科 P.11

農業経営に必要な「経営」や「販売」について千葉農大商店模擬会社の運営に携わりながら、農業経営を学びます。
(入学生募集) 農学科、農業系短期大学を卒業した方、卒業予定の方が対象です。

農業研修科 P.20

県内で新たに就農しようとする方が、平日に専門的な講義と実習を受講する「農業者養成研修(3・6・12か月)」、土曜日を利用して農作業を体験し、基礎的な農業知識を習得する「就農準備講座(7日間)」など、実践的な研修を行います。

機械化研修科 P.21

農業者や新規就農希望者を対象に農業機械の安全操作等に関する各種研修や、トラクター運転免許、けん引運転免許の取得に向けた研修などを行います。

施設の概要

本校は、本館、体育館、学生寮等の施設、学習に必要な設備、実習農場等を備えています。

● 本校施設(東金市家之子)

建物・施設 7ha
実習農場等 8ha

● 農業研修施設(東金市油井)

実習農場等 4ha

● 農業機械化研修施設(千葉市緑区)

運転技能研修コース 4ha



実習ほ場



建ち並ぶハウス群

千葉県立農業大学の魅力

温暖な気候と豊かな大地に恵まれた千葉県は全国有数の農業県であり、当校の多くの卒業生が県内の農業分野で働いています。

このような恵まれた環境の中で実践的な農業を学ぶことができます。

充実したカリキュラム

●幅広く学べるカリキュラム構成

農産物の生産、家畜の飼育をはじめマーケティング、スマート農業、食品加工等農業に関する知識を幅広く習得できるカリキュラムとなっています。



キャリアサポート実習

●進路決定をサポート

一人ひとりの進路を実現するために年間を通じてキャリアサポートを実施しています。

- ◆キャリア基礎講座(農学科) ◆キャリアサポート実習(農学科) ◆職業紹介業務に基づく進路指導(農学科、研究科)

●課題解決型学習の取組

自ら課題を設定し、栽培等計画を作成。課題に基づく調査・研究を行い、成果をまとめ・分析し、課題を解決していく学習を実施しています。



実践農業の体験学習

●先進農家等への派遣実習(農学科)

「農業派遣実習」では、優れた農家等で、一定期間仕事や生活を共にし、農業の優れた栽培技術を学びます。



農業派遣実習

●海外農業を学ぶ実習(農学科)

「国際農業実習」では、日本とは異なる風土で発達した農業や文化に触れ、幅広い視野や考え方を身に付け、国際的な価値観を醸成します。



国際農業実習

●インターンシップ研修(研究科)

「インターンシップ研修」では、優れた農業経営体や農業関連企業・機関等で職場体験を行い、職業観の醸成、経営や販売戦略、消費者重視の生産、流通、地域づくりなどを実践的に学びます。

快適に学べる教育環境



GAP 対応の出荷調整施設



広々とした大講義室



日当たりのよい学生寮

少ない経費負担

経済的な負担を軽減し、無理なく学べる環境を整えています。経費には寮で生活するための食費や光熱水費等も含まれています。また、在学中に下記の支援を受けることが可能です。

- ・日本学生支援機構等の奨学金
- ・就農準備資金(就農予定者が対象、条件有)

農学科1年次の経費(令和8年度計画)

項目	年額(円)
入学金	5,650
授業料	118,800
寮費、寮光熱水費	61,200
諸経費(寮食費、自治会費等)	約428,000
保険、書籍、国際農業実習等	約250,000
合計	約864,000

※農学科2年次は、国際農業実習がないため、合計から約20万円減額となります。

多彩な11の専攻教室(農学科、研究科)

- ◆作物 ◆施設野菜 ◆露地野菜 ◆果樹園芸 ◆花き園芸 ◆畜産 ◆情報経営 ◆食品加工 ◆生物工学
- ◆土壌肥料 ◆病害虫 ※詳細は12ページ以降をご覧ください。

ビジネス感覚を養う農業経営の学習

●専攻実習で直売を実践(農学科)

●経営感覚を学ぶ「模擬会社」(研究科)

- ◆本校で生産した農畜産物や加工品の販売
- ◆ブルーベリー観光農園など、農業経営実習の授業で模擬会社を運営



農畜産物の直売

専修学校のメリット

- ◆専門士(農業専門課程)の称号を付与
- ◆4年制大学への編入学が可能
- ◆日本学生支援機構等の奨学金制度が利用可能
- ◆職業安定法に基づく無料職業紹介
- ◆試験研究や普及指導機関等と連携した学び



研究経験者・農業指導者の授業

多様な免許・資格の取得

- ◆トラクター ◆農業機械士 ◆小型車両系建設機械
- ◆フォークリフト ◆けん引(農耕車限定) ◆家畜人工授精師
- ◆家畜商 ◆日本農業技術検定 ◆日商簿記 ◆毒物劇物取扱者
- ◆食品衛生責任者 ほか

※取得に別途経費が必要な免許・資格が含まれます。



トラクター免許研修

寮生活による仲間づくり

- ◆農学科1年生(全寮制)は寮生活により、協調性や自立心を養うことが出来ます。 ※詳細は23ページをご覧ください。

TOPICS

スマート農業施設・機器を活用した実習

●環境制御ハウス

高さ5.3メートルのハウスで、養液栽培システムを導入しています。この施設では、窓やカーテン、暖房、炭酸ガスの発生機等を自動で制御することができます。現在、学生の研究用にトマトやパプリカを栽培しており、スマートフォン等でハウス環境を整え、植物の管理をデータに基づいて行うなど、研究に有効活用しています。



●牛行動モニタリングシステム

牛の首や尾などに装着したセンサーによって、牛の採食や反芻など様々な行動をモニタリングします。その蓄積データを解析することで、通常、日々の観察で見発している発情や疾病、分娩兆候を検知することが可能となります。解析結果はスマートフォン等にリアルタイムで通知され、学生は観察と照らし合わせながら牛を管理しています。また蓄積データを卒業論文に利用しています。



●食味・収量センサ付きコンバイン

水稻や小麦を収穫しながら、ほ場ごとの水分とタンパクの含有率、収量をリアルタイムで測定することができます。ほ場ごとの品質と収量を把握することで、次作の施肥量や作付計画に反映することができます。



●スマート農業の授業

スマート農業関連機械実演会では、ドローン、自動運転トラクター、ラジコン草刈り機等の最新のスマート農業機械類の操作体験等を行います。

また、スマート農業の導入事例や現場で普及し始めているスマート機器などの先端技術を学ぶことができます。



6次産業化の技術を習得

●食品加工実習(農学科)

農学科の食品加工実習では、農産物の生産だけでなく、加工(2次産業)、販売(3次産業)まで取り組む6次産業化について知識を習得します。農産物の加工技術の基礎や原理について学び、農産物を活用した食品加工技術を身に付けています。

●加工・商品開発演習(研究科)

研究科の加工・商品開発演習では、テーマとする農産物を取り上げ、商品化に向けて農産物マーケティングを学びながら、年間を通じて加工演習に取り組んでいます。1年間の総まとめとして、協力をいただいた生産者をお招きし、商品成果報告会を行います。



GLOBALG.A.P.の取得推進

農業経営に必須な「労働安全」や「食品安全」、「環境保全」等のGAP(農業生産工程管理)の取組を実践するため、GLOBALG.A.P. 認証取得を進めています。

令和6年7月には果樹専攻教室で前年に引き続きブルーベリーの公開審査を受審し、9月に認証を取得しました。学生と教職員が一丸となり取り組み、農業散布や機械利用など全ての作業について、安全性が担保できる管理手順書の作成などを行いました。

今後も、幅広い品目でGAPの実践を進め、GLOBALG.A.P.認証の取得を目指していきます。



公開審査の様子



認定書が到着!

農場HACCPの取得

家畜の伝染病の発生予防・まん延防止及び畜産物の安全性確保のために、農場管理にHACCPの考え方を取り入れた農場HACCP認証を取得しました。

全国の農業大学校で牛・豚・鶏の3種類の家畜で認証を取得したのは初となります。

学生たちは、危害要因(微生物、化学物質、異物の混入など)を防止するための管理ポイントを設定し、日常の飼養管理で記録を行うことで、家畜伝染病予防や畜産物の安全性確保に取り組んでいます。



書類審査の様子



道具整理

農学科

- 修業年限…2年
- 定員…各学年80名、計160名
- 入学資格…高等学校卒業程度

教育の特色と内容

農学科では、実践的な農業技術と知識を学び、本県の未来の農業を担う人材を育成します。

特色

- 広い視野を養うための**教養科目と専門性の高い科目が両立**しており、授業の5割は**実習や実験**などとなっています。
- 先進農家等への派遣**を通じて、実践農業の体験学習ができます。
- 1年次後半から専攻教室に所属**し、自ら設定した課題で卒業研究を行います。
- 寮生活(1年次は全寮制)**を通じて、自主性や協調性を養います。

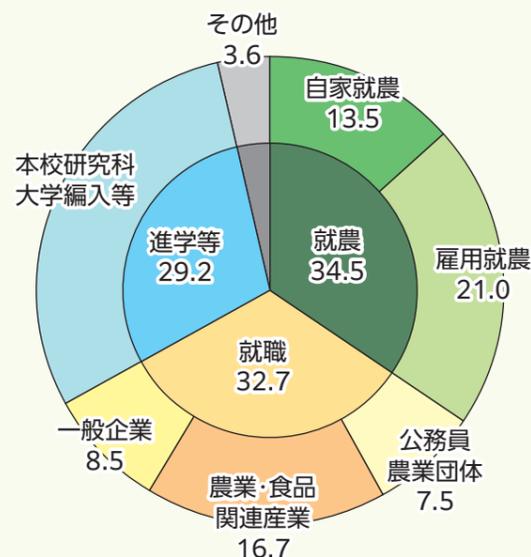
必要 単位数	専門教育科目					専攻 科目
	教養科目	共通必修 科目	専門選択科目			
			共通選択	植物系	動物系	
20単位以上	49単位	12単位以上	植物系又は動物系のどちらかを12単位以上			19単位
科目	文学 哲学 法学 経済学 化学 生物学 保健・体育実技 英語会話 等	農業派遣実習 国際農業実習 食品加工実習 キャリアサポート実習 生物化学実習 農業生産工程管理論 作物・園芸学概論 等	農業経営学 農業法律学 農業気象学 農業環境概論 園芸療法論 等	野菜園芸学 植物育種学 病理・昆虫学 土壌・肥料学 作物学 等	家畜育種学 家畜繁殖学 家畜生理学 酪農・肉牛 養豚 等	専攻実習 卒業論文

進路の状況

年度	就農(主な雇用就農先)	就職(主な就職先)	進学
R4	(有)大地牧場、(株)加茂牧場、(株)サリックスファーム、(有)ジェリービーンズ、(有)秀じい農場、芳源マッシュルーム(株)、(株)綿貫園芸、朝日アグリ(株)ほか	(株)関東甲信クボタ、(株)サカタのタネ、シンジェンタジャパン(株)、(株)全農ビジネスサポート、平林物産(株)、(株)丸山製作所、千葉県(農業技術員)ほか	本校研究科
R5	(株)エパタケ、(有)かまや、(株)グラフトワークス、(有)ジェリービーンズ、(株)高梨農園、(有)高秀牧場、東秀農育(株)、(有)北総ベジタブル、(株)見晴し園 ほか	(株)中セキ関東甲信越、(株)ユニバーサル園芸社、千葉県(畜産技術員)ほか	本校研究科他
R6	(有)折原園芸、(株)柏染谷農場、(株)あわせ牛、(株)柴海農園、(有)ジェリービーンズ、(株)千葉花壇、(有)都路ファーム ほか	(株)石川商会、(株)多田ビニール工業所、(株)フラワーオークションジャパン、オーケー(株)、(株)紀ノ國屋、(株)コメリ、フジフーズ(株)、JAいちかわ、(独)家畜改良センター、両総土地改良区 ほか	本校研究科

農学科の進路

(R元~5年 218人)
単位：%



キャリア教育

就農・就職するために必要な知識を身に付けるために、充実したサポートを提供しています。

●進路相談・無料職業紹介事業

相談室でいつでも行っています。求人情報の掲示、校内企業説明会の開催や企業現地説明会等を紹介しています。

●教養基礎講座・一般教養科目

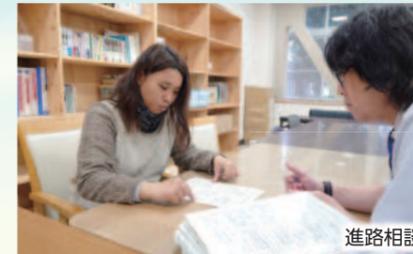
本県農業の優れた担い手・指導者となるために必要な一般教養を身につけます。また、就農・就職に必要な、免許・資格を取得します。

●キャリアサポート実習

雇用就農や、農業関係会社への就職、自家・自立就農に参考となる、県内産地、農業法人、農業関連会社への現地視察、研修を行います。

●キャリア基礎講座

就職活動の基礎知識を身に付けます。(ライフプランの策定、自己分析、求人票の見方、面接練習、面接カード・履歴書の書き方など)



進路相談



キャリア基礎講座

在学生の声



高柳 遼

農学科2年
露地野菜専攻
(長野県立南安曇農業高校出身)

私は農家をしている祖父母の手伝いを小さい頃からしていました。しかし、高校3年の春まで農家になることは考えもしませんでした。そんな時、祖父に本校の農学科を勧められたのを機に、祖父の農業を守りたいという気持ちを強く持つようになりました。

現在は露地野菜専攻教室に所属し、野菜の播種から収穫までの栽培方法を学びながら、カボチャの鳥獣害の対策について模索しています。卒業後は就農し、本校での経験をもとに、農業の未来を担っていきたいです。



馬場 一輝

農学科2年
果樹園芸専攻
(習志野市立習志野高校出身)

私の実家は農家ではなく、普通科高校の出身ですが、小さいときに家で簡単に作れる野菜を育てたことが楽しかったので、農業に興味を持ち、実践的なことを多く学べる本校へ入学しました。

現在は、果樹園芸専攻教室に所属し、桃や梨などの様々な果樹の栽培方法について学んでいます。また、実際に果物を食べることも大変勉強になっています。

卒業後は本校で学んだことを生かして、農業法人に就職し、経験を積んでから、就農しようと考えています。

就農を目指して

就農とは：農業を仕事にすることです。就農には次の3つの形態があります。

①雇用就農：農業を行っている農業法人(会社)に就職して農業に取り組む者。

※実家が農家でなくても農業が始められるため、本校で農業の知識、技術を身に付けて、雇用就農する方が多くいます。

②自営就農(親元就農)：農家の世帯員で、自営農業に従事する者。

③新規参入(自立就農)：農地を取得し、新たに農業経営を開始する者。

※就農には「技術(ひと)、農地、機械、施設(もの)、資金(かね)」が必要となるため、卒業後、雇用就農や現地研修で経験を積むなどの準備が必要となります。

就農までの道のりと支援内容

：本校では、学生が就農を目指せるよう、様々な支援を行っています。

区分	1年前期					1年後期					2年前期					2年後期					卒業後		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		12	1

雇用就農	農業技術・知識を学ぶ	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来の夢・目標を定める ● 免許資格の取得[自動車・トラクターなど] ● 求人票・各種就職支援サイト等情報収集 ● 説明会・インターンシップ等への参加 ● 就職活動解禁(3月以降) ● 内々定 ● 就農先内定 	

自営就農・新規参入	農業技術・知識を学ぶ		〔例示〕
	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来の夢・目標を定める ● 免許資格の取得[自動車・トラクターなど] ● 就農計画の検討(どのような農業をしたいのか) (栽培品目、やりたい農業形態、栽培計画、資金計画の検討、習得予定の技術確認) ● 就農計画・経営計画の策定 ● 家族との話し合い(経営移譲や経営分離、新規部門などの検討…自営就農) ● 就農に向けての調整(市町村・農業委員会との相談) ● 認定新規就農者の検討 		

本校の主な支援内容	〔技術・知識の習得〕		〔就農後の支援〕	
	■ 農業関係専門講座(講義及び実習)での専門知識・技術の習得	■ 農業現場との連携による実践的な実習(農業派遣実習等)		<ul style="list-style-type: none"> ● 本県農業事務所(県内10か所)との連携による新規就農者の定着化支援
	〔免許・資格取得〕			
	■ トラクター免許等の就農に必要な免許・資格の取得支援			
	〔就農計画、雇用就農の情報収集〕			
■ 就農計画の策定支援	■ 雇用就農や自立就農・自営就農に参考となる現地視察・研修の実施(キャリアサポート実習等)			
■ 農業法人等企業説明会の開催、インターンシップの実施				
〔農業法人等就農先紹介〕				
■ 無料職業紹介事業による雇用就農先(農業法人)の紹介				

研究科

- 修業年限…2年
- 定員…各学年20名、計40名
- 入学資格…本校農学科、短期大学卒業程度もしくは同等以上

教育の特色と内容

専門的な農業技術の研究や農業経営手法を学び、農業現場で活躍する人材を育成します。

特色

- 「模擬会社」の運営を通じて生産から販売の過程を総合的に学習でき、優れた経営感覚を身に付けられます。
- 授業では座学が3割、実習と演習が7割を占め、実践的な技術や問題解決能力を高められます。
- 進路・志望に応じたインターンシップ研修等のキャリア教育が充実しています。

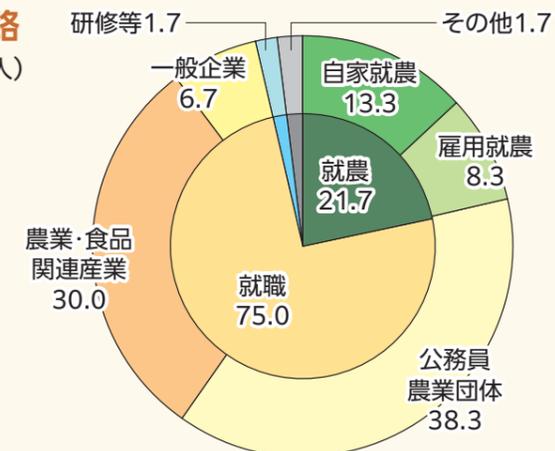
教養科目	専門教育科目				専攻科目
	必修科目		選択科目		
必要単位数	4単位		59単位		26単位
科目	実用英語 I、II	農業経営実習 I、II 加工・商品開発演習 I、II インターンシップ研修 キャリア形成講座 販売実践講座	アグリビジネス論 フードシステム論 法人経営論 食品安全とリスク管理論 起業論 等	農業機械学 生物資源利用論 園芸施設論 花き装飾論 生物工学	農政時事 家畜衛生学 家畜解剖学 大家畜論 中小家畜論 等
					専攻実習 研究成果(課題研究)

進路の状況

年度	就農(雇用就農先)	就職(主な就職先)
R4		(農)多古町旬の味センター、(株)関東甲信クボタ、(一社)千葉県農業会議、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、千葉県(上級農業、高校実習助手)
R5	イオンアグリ創造(株)、Jリーフ(株)、(株)ノベルズ	(株)アグリ総研、(株)関東甲信クボタ、ベルグアース(株)、(株)マイファーム、(公財)日本植物調節剤研究協会、愛知県、千葉県(上級農業、農業技術員)
R6	(有)森田洋蘭園	(株)関東甲信クボタ、(社)福祉楽団、(株)シー・アイ・シー、(株)やます、JAちばみどり、千葉県(上級農業)ほか

研究科の進路

(R元~5年 60人)
単位：%



在学生の声



都築 花音

研究科1年 情報経営専攻
(千葉県立幕張総合高校 出身)

私は普通高校出身ですが、祖父母が農家のため幼い頃から農業が身近にありました。その仕事に興味を抱き、また農業系の仕事に就きたいと考えているため、専門性や実践性に富む本校に入学しました。

現在は情報経営専攻教室に所属し、野菜の育て方だけでなく、農業をとりまく経済環境や経営に関することを学び、実践しています。

今後とも知識や技術、経験を養い、将来に役立てたいと思います。

専攻教室の紹介

●専攻教室について

専攻教室では、各専攻教室が掲げる到達目標を実現するため、農作物の栽培技術や農業経営の手法について専門性の高い実習に取り組んでいます。また、専攻実習等の共同作業を通じてチームワークの大切さやありがたさも実感できます。本校には、全国の農業大学校の中で最も多い11の専攻教室があります。

本校での集大成である、課題解決型学習の場でもあり、特に優秀な課題については以下のような賞を受けています。

全国農業大学校等プロジェクト発表会

R4 農林水産大臣賞

「スクミリングガイ捕殺トラップの開発とブランド米開発システムの構築」(病害虫)

R5 農林水産省経営局長賞 (全国第2位)

「規格外レタスの新たな活用方法の開発」(食品加工)

R5 ヤンマーアグリ株式会社賞 (全国第2位)

「倒伏しない『コシヒカリ』の栽培方法の検討」(作物)

みどり戦略学生チャレンジ

R5 グランプリ賞 (第1位)

「物理的及び生物的防除を利用した環境保全型農業の実践」(病害虫)

R5 チャレンジ賞

「食品残渣の活用による環境負荷低減への取組」(土壌肥料)



作物専攻教室

アピールポイント

農業機械を使用した大規模生産技術を学んでいます。栽培品目は水稻、豆類、雑穀、イモ類など幅広く、作物栽培の基礎から生産上の課題解決手法まで習得できます。

学習到達目標

水稻・畑作物の基本的な栽培管理技術の習得

身に付く知識・技術

- 水稻および畑作物の栽培管理技術
- 農業機械の操作方法、乾燥調製方法
- 水稻および畑作物の生育、収量調査方法と解析手法
- 穀類および畑作物の販売方法

課題解決型学習の例

- 水稻品種「粒すけ」の高温耐性について
- ジャンボタニシの新たな防除方法の確立
- サツマイモの株間と施肥量の違いによる収量と品質の変化



施設野菜専攻教室

アピールポイント

自らの責任で育苗から収穫までの野菜栽培管理を実践することで、今までに経験したことのないような達成感と喜びを味わえます。

学習到達目標

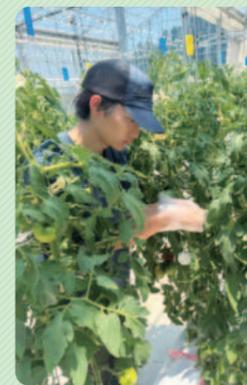
施設野菜の栽培と経営において必要な知識と技術の習得

身に付く知識・技術

- 果菜類を中心とした施設野菜の栽培技術
- 環境制御ハウスを用いたスマート農業の知識・技術
- 施設の管理方法及び機械の操作技術
- 経営に関する知識及び販売方法

課題解決型学習の例

- キュウリに発生するアザミウマ類防除方法の検討
- 持続可能なトマトの袋栽培の検討
- 酵素液肥がメロンの生育・品質・収量にあたる影響



露地野菜専攻教室

アピールポイント

季節の野菜(果菜類、葉茎菜類、根菜類、いも類)を栽培し、観察し、食べることで野菜栽培の基礎知識を習得できます。

学習到達目標

主要な露地野菜と無加温ハウスで栽培される野菜の生理生態や肥培管理及び出荷調製技術の習得

身に付く知識・技術

- 野菜の分類と作型
- 野菜の育苗と栽培管理
- 病害虫の診断と対処法
- 品目ごとの経営収支と作型を組み合わせた経営の考え方
- 環境負荷を考慮した環境保全型農業

課題解決型学習の例

- スイカの糖度を高める窒素追肥量や土壌水分管理方法の検討
- サトイモのかん水作業を省力化する畝内かん水の検証
- カバークロップを用いた栽培に適した野菜及び作型の選定



果樹園芸専攻教室



アピールポイント

一年を通じてニホンナシ、ブルーベリー等栽培管理を実践します。実習を通じて栽培技術、貯蔵等の品質管理技術が学べます。さらに、常に旬のフルーツが食べられます。

学習到達目標

果樹全般の栽培と経営において必要な基本的な知識と技術の習得

身に付く知識・技術

- ニホンナシ、ブルーベリーの栽培技術、品質管理技術
- その他の果樹類の栽培技術
- 果樹園におけるスマート農業の知識・技術
- 農業生産工程管理(GAP)に関する知識

課題解決型学習の例

- 傘かけ栽培と貯蔵条件が貯蔵性に及ぼす影響
- 非破壊硬度測定器を用いた収穫適期の判定
- スマート農業の導入による作業労力の軽減



畜産専攻教室



アピールポイント

家畜が生まれてから畜産物になるまでを一貫して学ぶことができます。社稷祭や直売では、大学校で育てた家畜の畜産物を販売し、品質の良さから常連さんもつき、毎回完売しております。

学習到達目標

家畜の基本的な飼養管理技術の習得

身に付く知識・技術

- 牛(乳牛・肉用牛)、豚、鶏等の家畜の飼養管理技術
- 牛、豚等の繁殖(自然交配・人工授精)技術
- 衛生管理技術や家畜取引に係わる知識
- 施設の管理、機械操作技術
- 農場HACCPに関する知識等

課題解決型学習の例

- (牛)アニマルウェルフェアを考慮した衛生管理
- (豚)豚の肥育後期における酒粕給与による肉質の変化
- (鶏)雄刺激が採卵鶏の初産日齢に及ぼす影響



花き園芸専攻教室

アピールポイント

入学式や卒業式を飾るすべての草花を栽培しており、社稷祭や直売でのシクラメンや花束の販売は地域の方からも好評いただいています。

学習到達目標

花きの基本的な栽培技術の習得

身に付く知識・技術

- 鉢花、切り花、花壇苗等の栽培技術
- 特定の出荷日を目指した開花調節
- 施設の管理方法、機械の操作技術
- 花き経営の基礎及び販売方法

課題解決型学習の例

- ストックの品質保持に向けた鮮度保持剤の選定
- ユリのコンテナ栽培による生産技術の確立
- プリムラ栽培の遮光資材を用いた高温対策の検討



情報経営専攻教室

アピールポイント

広い視野で農業経営に役立つ情報や知識の習得と主要品目の栽培技術を同時に学ぶことができます。

学習到達目標

就農に必要な優れた経営能力の養成と基本的な栽培技術の習得

身に付く知識・技術

- 経営資源(ヒト、モノ、カネ、情報)を活用した農業経営
- 生産から販売までの農業経営マネジメント
- 幅広い経営知識と基本的な生産技術の習得

課題解決型学習の例

- ブランド米産地の取組と就農後の産地振興策の考察
- スイカ省力整枝技術による品質変化と経営効果の検証
- キセニアとうもろこしに対する消費者の品質評価の分析



食品加工専攻教室



アピールポイント

学校農産物や地域で生産された農産物を利用し、加工特性や加工貯蔵技術を学びながら、地域農業の現状や問題点を把握し課題解決学習に取り組めます。

学習到達目標

基本的な農産物の生産及び加工技術や貯蔵技術の習得

身に付く知識・技術

- 基本的な野菜等の栽培技術
- 農産加工原料の特性と加工方法
- 貯蔵方法の技術

課題解決型学習の例

- 規格外レタスの新たな活用方法の開発
- キュウリの新しい活用で農家と消費者を繋げる加工品の提案
- 規格外自然薯の有効活用方法の検討



土壌肥料専攻教室



アピールポイント

土作りを通じて、環境に配慮した農業の実践に取り組んでおり、卒業後に有機農業に取り組めるような学生を育成しています。

学習到達目標

土作りに係る基本的な分析手法及び管理技術の習得

身に付く知識・技術

- 土壌性質(化学性・物理性・生物性)の分析手法
- 栽培品目に合わせた土壌改良手法
- 環境に配慮した農業技術及び知識
- 実験器具の使用法、農作物の基本的な栽培技術

課題解決型学習の例

- 食品残渣を用いた堆肥化技術の検討
- 有機ばれいしょ栽培における雑草防除対策の検討
- 耕作放棄地解消へ向けた緑肥による土壌改良効果の検証



生物学専攻教室

アピールポイント

オートクレーブやクリーンベンチ、人工気象器等を活用し、栽培現場の問題解決に向けた植物の培養技術を主とした課題に取り組んでいます。

学習到達目標

基本的な組織培養技術の習得

身に付く知識・技術

- 対象植物及び培養物の栽培管理
- 交配及び選抜等の育種技術
- 無菌操作技術

課題解決型学習の例

- 組織培養による「カワツザクラ」の大量増殖法の利用検証
- 江戸菊のウイルスフリー化
- 白くておいしいイチゴの品種育成



病害虫専攻教室

アピールポイント

病害虫の生態や防除対策に関する研究を行い、その研究成果は農林水産大臣賞を受賞するなど、高い評価をいただいています。

学習到達目標

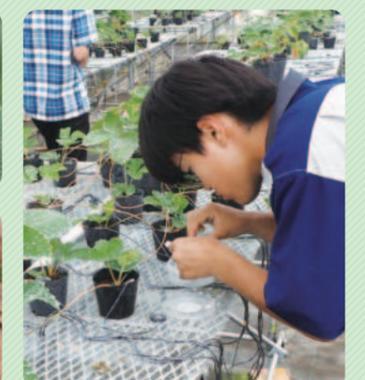
基本的な栽培技術の習得、病害虫及び天敵の発生生態の解明、総合的病害虫管理技術等の習得

身に付く知識・技術

- 総合的病害虫管理(IPM)技術とその実践方法
- 病害虫発生メカニズムの理解や天敵の増殖技術等の習得
- 農作物の栽培管理技術
- 試験方法及び調査方法の習得
- 地域連携による商品開発の方法及び実践

課題解決型学習の例

- スクミリンゴガイ駆除トラップの開発及びブランド米開発システムの構築
- 糸状菌をナミtentウに積載することによる相乗的な害虫防除効果
- アブラナ科害虫の薬剤感受性の解明及び効果的な防除体系の実証



就農



島田 晃汰

令和5年度 農学科卒
(千葉県立安房拓心高校 出身)

私は農業大学校を卒業後、家業を継いで就農しました。経営を展開する館山市は温暖な気候で真冬でも霜が降りず、レタスやナバナ、切り花などが特産品として有名な地域です。私の家でも水稲と、地域特産の露地野菜を栽培してきましたが、労力配分や収益性を考慮し「長ネギ」の導入拡大を図りつつあります。学校で学んだ知識を生かし、温暖な館山市のブランド品を作りたいと思い、日々研鑽に励んでいます。



錦織 主騎

令和5年度 研究科卒
(千葉県立佐倉東高校 出身)

私は農業大学校に入学した時は、農業についての知識は全くありませんでしたが、農学科、研究科を通して農業だけでなく、多くのことを学ぶことが出来ました。私は在学中、作物専攻に所属しており、農学科では水稲、研究科では自然薯について研究しました。卒業後は研究を活かして、自然薯を経営品目として新規就農しました。知らない土地での就農なので困難もありますが、自分らしい農業が出来たらいいと思います。



谷嶋 祐輝

令和5年度 研究科卒
(千葉県立白井高校 出身)

私は農業大学校卒業後に親元就農し、実家のいちご農園を継ぎました。今まで育ててくれた親にもっと楽しんでほしいと思い家業を継ぐことを決めました。在学中は施設野菜専攻に所属し、4年間を通していちごの研究に取り組みました。農業大学校では、農業の知識、技術はもちろん卒業後の農業従事者とのつながりを作ることができ、今後の自分の武器になると思います。



富永 真央

令和5年度 農学科卒
(東京都立園芸高校 出身)

私は現在、東京都にある株式会社ユニバーサル園芸社で働いています。オフィス内の植栽管理を行い、植物を使って社員の方々に癒しを届けています。農業大学校では、花き園芸専攻教室に所属し、切り花を中心に草花の生産、加工技術を学びました。講義や実習では、様々なことに挑戦することができ、沢山の技術や知識を身につけることが出来ました。他にも自発的に動き、寮生活や農家バイトなど沢山の経験を積むことができ、充実した学生生活を送れました。



中村 僚一

令和5年度 研究科卒
(千葉県立流山高校 出身)

私は卒業後、農家の役に立ちたいと考え株式会社関東甲信フタタに就職しました。もともと機械類に興味があり、日頃から農業機械が労力不足を補えると考えていました。「適正かつ効率的な農業機械導入」を信条に、農家との架け橋となれればと考えています。現在、油まみれになりながらも弊社での研修を終え、営業所へ配属される予定です。今後は、農業大学校で学んだ「地域に根差した農業」を忘れずに千葉県農業の発展に尽くしていきたいと思っています。



鈴木 啓太

令和5年度 研究科卒
(千葉県立富里高校 出身)

私は農業大学校を卒業後、株式会社アグリ総研に就職しました。先輩方や上司に指導していただきながら、送粉昆虫であるマルハナバチの生産を行っています。在学時は、病害虫専攻教室に所属しており、オオメカメムシという害虫を捕食するカメムシの研究を行っていました。そこでは様々な益虫や害虫についての研究を専攻室内の仲間達や先生方と協力して取り組んでおり、令和5年度みどり戦略学生チャレンジでは、皆と協力し合い、グランプリ賞を受賞し、貴重な体験をすることが出来ました。



及川 良志

令和5年度 研究科卒
(二松学舎大学附属柏高校 出身)

公益財団法人日本植物調節剤研究協会で、除草剤の薬効・薬害・残留試験に関する圃場管理、試験補助をしています。在学中は作物専攻教室に所属し、落花生の研究を行うと共に、農業機械・器具の扱い方を学びました。また、研究科ではさらに実践的な農業を学びながら、学生が運営する模擬会社にて生産部長を務め多品目の栽培管理とリーダーシップ性を身に付けることが出来ました。先生方や友人達と切磋琢磨できたことで、誇れる自分自身を確立できたことをとても感謝しています。

公務員



永野 就太郎

令和5年度 農学科卒
(第一学院高校 出身)

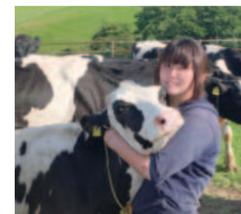
私は非農家の出身で、農業大学校に入学するまで農業について全く知りませんでした。そんな私でも、在学中に所属していた土壌肥料専攻教室での実習を通じて、野菜作りにとって大切な土作りや肥料の取り扱いなどを中心に、農業の基礎知識や栽培技術を身につけることが出来ました。卒業後は旭市の有限会社かまやに就職し、在学時に身につけた知識・技術を活かしたサンチュの水耕栽培管理に携わっています。



原 然理

令和5年度 農学科卒
(神奈川県立中央農業高校 出身)

私は農業大学校を卒業後、農業派遣実習でお世話になった有限会社ジェリービーンズに就職しました。現在は哺乳子豚と母豚の管理に携わっています。在学中は畜産専攻に所属しており、養豚の基礎的な知識だけでなく、豚の人工授精、出産などの経験を通し、命を扱う大変さや嬉しさを学び、それが今でも役立っています。また学生寮で過ごした友人達との日々も私にとってかけがえのないものです。千葉県の養豚業界をより一層盛り上げていけるよう日々精進していきます。



藤田 実季

令和5年度 農学科卒
(千葉県立茂原樟陽高校 出身)

畜産技術員として千葉県畜産総合研究センター市原乳牛研究所に勤務しています。乳牛の基本的な知識だけでなく、繁殖管理や機械の操作、牛舎等の施設・設備の修繕など、幅広い仕事をこなしていく必要があり、毎日が勉強の日々です。高校から畜産一筋で勉強をしてきましたが、働き始めると足りない部分もあり、学生の時から培ってきた知識を活用しながら仕事に取り組んでいます。将来何がしたいかで思い悩んだ時期もありましたが、今の私がいるのは、2年間苦楽を共にしてきた専攻のメンバーと先生方がいたからだと心から実感しています。



川嶋 佑陽

令和5年度 研究科卒
(千葉県立佐原高校 出身)

千葉県印旛農業事務所に勤務し、普及技術員としてナシ、ブドウなどの果樹を担当しています。在学中は情報経営専攻教室に所属し、サツマイモ栽培に関する研究に取り組んでいました。また研究科では千葉農大商店模擬会社の社長を務め、生徒主体で模擬会社を運営するという農業大学校でしかできない様々な経験をする事が出来ました。現在は果樹という初体験の分野で勉強の毎日ですが、立派な普及指導員になれるよう頑張ります。

農業研修科

県内で新規に農業を始めたい方、農業を開始し技術を高めたい方を対象とした研修を実施しています。



研修内容

●農業者養成研修

農業経営者に必要な専門知識・技能を、講義、農場・農家実習や校外学習などで習得します。

研修期間が3か月の基礎研修、6か月の専門研修、12か月の部門別研修の3コースがあり、県内で職業として農業を始めようとする方や、県内で既に農業を開始している方が対象です。

●就農準備講座

基礎的な農業知識の習得と農作業を体験し、午前は講義、午後は野菜・花き栽培関連の農場実習を行います。

また、新規就農の事例を視察します。

将来、県内で職業として農業に取り組もうとしている方が対象です。

●就農実践研修

1年間の研修コースで、これまで習得した知識や技術を用いて農作物の栽培・販売を行い、就農に必要な栽培技術習得や農業経営の経験を積むための研修です。

農業者養成研修を修了した方が対象です。



農業機械の操作体験



サツマイモの植え付け



学んだ技術で模擬経営

【問合せ先】

千葉県立農業大学校 農業研修科 〒283-0001 千葉県東金市家之子1059(油井農場ではありません)
TEL 0475-52-5140 FAX 0475-54-0630

機械化研修科

農業者や新規就農希望者等を対象に、農業機械の安全かつ適正な操作・点検整備ができる農業機械利用技能者を養成します。

農業大学の学生向けには、農学科1年生の夏季や冬季に農業機械実習として、トラクター基本操作の研修を実施します。

研修内容

●農業機械体験研修

農作業安全に関する知識、農業機械の基礎、乗用型トラクター・歩行型トラクター・草刈り機の基本的な操作技術を習得します。

研修対象者は、新規就農者・定年帰農者等の就農予定者です。

●トラクター免許取得研修

トラクターの免許取得に向けた研修を実施します。

研修の対象者は、県内に住所を有し、トラクター作業経験のある農業従事者及び従事しようとする方で、普通自動車免許等を有する方です。



●農業機械基本研修

農業機械の安全かつ適正な取扱い及びドローンなど最新の農業機械についての知識・技能を習得します。

研修対象者は、農業大学校学生です。

●農業機械士養成研修・農業機械士育成研修

農業機械の安全かつ効率的な利用のため、農業機械の構造・機能や作業の安全知識、農業機械の運転操作と作業機の装着・日常保守点検の技能を習得します。

最終日は、機械化研修科内で技能検定を受検し、合格すると農業機械士の資格が取得できます。

研修対象者は、普通自動車運転免許等を有する方です。

●けん引免許取得研修

トラクターによるけん引車両の免許取得に向けた研修を実施します。

研修の対象者は、県内に住所を有する方で、大特免許(農耕車限定含む)を有し、ほ場内でトレーラ等のけん引経験のある方です。

●農業用ドローン操作研修会

農作物の農薬防除等で使用する農業用ドローンの操作方法と飛行に関する航空法等の必要な知識を学ぶことができます。



●農業後継者育成農業機械研修など

担い手として農業機械を取り扱う上で、必要な知識・技能を習得します。

【問合せ先】

千葉県立農業大学校 機械化研修科 〒266-0006 千葉市緑区大膳野町1055
TEL 043-291-1254 FAX 043-292-3859

キャンパスライフ

学校行事予定

- 4月**
 - 入学式
 - ガイダンス
 - 前期授業開始
 - 校内スポーツ大会
- 5月**
 - 創立記念日
 - オープンキャンパス
- 6月**
 - 一日体験入学
- 7月**
 - オープンキャンパス
 - 一日体験入学
- 8月**
 - 前期試験
 - 農業派遣実習(農学科1年生)
 - 農業機械実習(農学科1年生)
 - インターンシップ研修
 - オープンキャンパス
- 9月**
 - ガイダンス
 - 後期授業開始
 - 専攻教室決定(農学科1年生)

- 10月**
 - 推薦入試
- 11月**
 - 社稷祭(学園祭)
- 12月**
 - 卒業論文発表会(農学科2年生)
 - 研究成果発表会(研究科2年生)
 - 国際農業実習(農学科1年生)
- 1月**
 - 冬季休業
 - 後期試験
 - 一般入試(A日程)
 - 関東ブロック農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会
- 2月**
 - 一般入試(B日程)
 - 農業派遣実習(農学科1年生)
 - 農業機械実習(農学科1年生)
 - 全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会
 - 卒業論文、研究成果提出
- 3月**
 - 卒業式
 - 春季休業



ゆうきひりょう 雄貴妃寮



寮生の1日

- 7時10分 起床
- 7時20分 朝点呼
- 7時50分 朝食
- 8時50分 登校
- 1限・2限
- 12時10分 昼食
- 3限・4限
- 17時30分 夕食
- 部活・アルバイト
入浴・自由時間
- 22時 夜点呼
- 23時 就寝



寮長よりメッセージ



この寮では、農学科生と研究科生が同じ屋根の下で毎日楽しく生活しています！
皆さんと楽しい寮生活を過ごせることを楽しみにしています！！



寮に関する Q & A

Q 全員、寮に入らないといけないの？

A 農学科1年生は全寮制です。
2年生以降は、希望入寮(条件有)となります。

Q 寮生活について教えてください。

A 原則3人部屋、7:10起床、門限21:50です。
授業のある平日の朝・昼・夕は食事が出ます。
入浴は18:30~21:50に可能です。
無線LANも完備しています。

Q 初めての寮で不安ですが…。

A 安心して下さい。先輩や友達と良好な関係が築ける場所になります。
入寮時は、入寮者の大半が寮生活に対する不安を持っています。しかし、1年生全員が入寮するのでスタートラインは同じなため、すぐに良好な人間関係を作れます。



学生を主体とした自治活動にて寮の運営をしています。

